

支援業務課 NEWS

田口正一氏 農林水産大臣賞を受賞 ～平成18年度全国優良畜産経営管理技術発表会～

11月2日、東京都内(虎ノ門パストラル)において、中央畜産会・全国肉用牛振興基金協会主催による平成18年度全国優良畜産経営管理技術発表会が開催され、全国各地より推薦を受けて最終審査に残った12経営が事例発表を行いました。

本県からは長岡市の田口正一氏(肉用牛経営)と燕市の中条 健氏(養豚経営)の2名が選ばれて、全国発表会に臨みました。

発表会終了後に最終審査会が行われ、田口正一氏が新潟県からは初めてとなる最優秀賞(農林水産大臣賞)の栄誉に輝き、中条 健氏も優秀賞(生産局長賞)を受賞する快挙を達成しました。

審査講評において、田口氏は第1に肉用牛の低コスト生産により自己資金を蓄積して負債ゼロの経営を確立した経営努力、第2に水田地帯という立地条件を生かして耕畜連携により粗飼料自給率100%の資源循環型農業を実践していること、第3に肥育もと牛全頭を県内産の子牛で調達し、県内の肉用牛一貫システムの構築に貢献していること、第4に肥育牛の飼養環境を整備して優れた肥育技術により品質の高い牛肉を生産していること等経営全般にわたり高い評価を受けました。平成15年には後継者が就農し、今後、一層の経営発展が期待される経営です。

また、中条氏も地域の若手リーダーとして先進的な技術の導入を進め、各種の活動を通じて地域養豚の振興に努めていることや長年にわたって高位安定した成績を維持し安全・安心な生産農場づくりに努めている等の地道な経営努力が評価されました。

なお、この2経営を含め、本県より推薦した阿賀野市の伊藤芳弘氏(酪農経営)の3経営は12月19日に開催された県畜産振興協議会等主催の優秀畜産表彰において県知事賞・県畜産協会会長賞等を受賞されました。



テーブルマナーを学び 「にいがた和牛」を楽しむ会を開催

本協会が事務局の「にいがた和牛推進協議会」では、「児童の食育とにいがた和牛」の消費拡大を図ることを目的にして、小学4～6年生と保護者のペアを対象に「テーブルマナーを学びにいがた和牛を楽しむ会」を11月23日新潟市万代のホテル新潟で開催しました。

参加者は、地元紙の公募で応募した約200組の中から厳正な抽選を行い26組の方の参加を得て実施しました。

楽しむ会は、初めに事務局員がにいがた和牛についてパワーポイントを使って説明して知識と理解を広め、次いで食育を目的にしてホテル新潟の森本シェフから日々の食べ物や食事の取り方と心身の健康について講話があり、特に食事は家族全員揃い食卓を囲み、皆で楽しく食べること、偏った食事をしないことが大切です等と話され、最近欠けている家庭の食事と風景に警鐘を鳴らされた感のある話がありました。

最後にホテル新潟担当者がテーブルマナーを模擬実践して見せて、それぞれのテーブルに食事が運ばれて参加者は談笑をしながら和やかに食事を始めました。

この食事の間にもホテル接客担当者は各テーブルに気を配りながらアドバイスをして回りテーブルマナーの知識と理解を深めることに努めていました。

楽しむ会の終了後、参加者からはとても楽しい中で、子供達にテーブルマナーを学ばせる機会を与えてもらい感謝している等の言葉をいただきました。



第2回ふれあい体験交流会開催

平成18年度地域畜産ふれあい体験交流推進事業の地域畜産体験交流研修会として、去る10月14日(土)、三条市の新潟県畜産研究センターにて、第2回ふれあい体験交流会を開催しました。

当日は好天に恵まれたことも手伝って、地元保育園や小学校児童の親子連れを中心に約1,050人もの来場者がありました。



搾乳体験では、子供たちが順番に搾乳を行い、牛のあたたかさや生乳が出てくる様子などを楽しそうに体験していました。

バター作り体験では、小さな容器に牛乳と生クリームを入れ、10分ほど上下に振るため、疲れをみせる子供もいましたが、ほとんどの子供たちは、楽しく美味しい体験ができてよかったと喜んでいました。

また、子豚、やぎ、ひよこ、うさぎとのふれあい体験では、特に小さな子供たちに人気が高く、動物をなでたり、抱き上げたりしながら、楽しいひと時を過ごしていたようです。



第8回協同組合まつりへ参加

10月22日(日)、新潟市産業振興センターにて、第8回協同組合まつりが開催されました。今年は「食と暮らしと健康を創る」をテーマに各団体が趣向を凝らしたイベントを実施しました。

当協会は、畜産物や畜産の果たす役割に対して理解促進を図り、畜産の振興に資することを目的として、やぎ親子のふれあい展示、ぬりえコーナー、畜産クイズ、食育ビデオ上映などを実施しました。

やぎ親子とのふれあいとぬりえコーナーは特に大人気で、多くの子供たちで賑わっていました。



「全国畜産縦断いきいきネットワーク」 会員募集中

このネットワークは平成17年8月に発足し、全国の畜産に携わる多くの女性たちが畜種をこえて集まり相互の交流と研鑽、消費者との交流等を通じて、より魅力ある畜産の実現を目指しています。

新潟県内でも、毎年、交流会を開催しておりますので、是非、参加して交流の輪を広げましょう。

全国ネットワークの年会費は6,000円です

問合せ先：畜産協会支援業務課 (TEL 025-234-6781)
〒950-1101 新潟市山田2310-15 全農にいがた第二ビル内



県畜産研究センターでの平成18年度交流会の様子